

平成29年度豊明市障害者地域自立支援協議会 議事の要旨

平成30年2月16日（金）

午前10時～11時30分

豊明市役所 東館1階 会議室4

1 会長あいさつ

加藤会長より挨拶

2 議 事

議題1 障がい者相談支援事業の実績について

事務局より資料1-1から1-3に基づき説明する。

【質疑・意見等】

委員：資料1-1 7ページ 基幹相談支援センター事業実績について。

表内の「不安の解消・情緒安定に関する支援」が483件、「社会参加・余暇活動に関する支援」が98件と、昨年の実績（451件、79件）に比べ増加している。増加の要因はどう考えるか。

事務局：精神障がい者で不安が強い方から、一人で何度も電話相談をするケースが増えているため。また、社会生活に関する支援については、相談員のスキルが上がり、生きがいつくりの場へつなぐ機会が増えていることが要因として考えられる。

議題2 各部会報告について

事務局より資料2-1から2-5に基づき説明する。

【質疑・意見等】

委員：資料2-1 8ページ 地域生活支援拠点についての提言 について表内①相談②緊急時の受入・対応について、精神科救急病院の立場でお願いしたい。精神・発達障がい者の緊急時対応は、精神科病院への短期の入院から福祉サービス利用（入所等）へつながる経過が一般的。

夜間帯の受入相談については、その方のカルテが病院にあらかじめある状態だと、受入がしやすくなる。定期通院が必要ない状態でも、緊急時を想定しあらかじめ病院へ相談しておいてほしい。

委員：同じく地域生活支援拠点についての提言 表内②緊急時の受入・対応について。安心して地域で暮らせるために、短期入所は不可欠。ただ受入できれば良いわけではない。もう少し具体的に検討を進めてほしい。

また、日中活動系事業所での受入制度については、ぜひ実現させてほしい。

アドバイザー：緊急時対応のためには、平常時からの実態把握が重要。他市では市と障害者相談センターと一緒に訪問し実態把握を行い、貴重な情報を得ている例がある。また、日中活動系事業所での受入は日進市の先行事例がある。豊明市でも、手をつなぐ育成会が過去に様子を知っている親同士が預けあう取組を行っていたよう記憶している。

資料2 11ページ 療育支援部会について。平成30年4月に特別支援学校の再編が予定されている。豊明市でも三好から大府のもちの木特別支援学校に学区が変わるが、環境が大きく変わることに不安を抱える保護者が多いと聞いている。県と連携し支援を行ってほしい。

議題3 豊明市第3次障害者福祉計画・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画について各部会報告および平成29年度の部会（案）について

事務局より資料3-1から3-2に基づき説明する。

本計画については、障害者福祉計画等策定・推進委員会にて報告・審議を行っているため、素案作成の報告のみ実施。

2月末までパブリックコメントを実施中。

【質疑・意見等】特になし

議題4 障害者差別の解消について

事務局より資料4-1から4-5に基づき説明する。

【質疑・意見等】

アドバイザー：障害者差別解消法が平成28年度に施行され、2年目となった。29年度は各市町の研修等の取り組みが減っている印象。

他市の今年度の取り組みを紹介すると、事業者がハローワークと連携し事業者向けの研修を行った。取り組みを継続していくことが重要。

事務局：市においても、新年度予算で「障がい理解推進事業」を実施予定。地域の事業者に障がい理解のための研修を実施し、障がい者の社会参加促進を図っていく。

また、障がい者スポーツの「ボッチャ競技」を楽しむ会を新年度に開催予定。健常者と障害者が交流する機会としていきたい。

3 その他

名古屋南公共職業安定所から、障害者雇用についての資料提供あり。
平成30年4月1日から、障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わる。また、事業者向け「精神・発達障害者雇用促進セミナー」を3月6日に開催予定。

【出席者等】

出席委員 12名

事務局 10名

尾張東部圏域相談支援地域アドバイザー
そだつ部会長、地域生活支援部会長（委員兼務）
障害児相談支援委託相談員
豊明市障がい者基幹相談支援センターフィット
健康福祉部長、社会福祉課長、社会福祉課長補佐、
児童福祉課長補佐、社会福祉課障がい福祉担当係長

傍 聴 なし

以上